

渥美半島道路整備 新段階へ

田原で期成経済連合会が総会 改称と規約一部改正決める

渥美半島道路期成経済連合会は4日、田原市役所で今年度の総会を開いた。県が今春示した一般道整備方針を受け、組織の名称を「渥美半島の道路建設期成経済連合会」に改称するなど規約の一部改正を決めた。

(中村晋也)

県は「渥美半島に流・観光交流」「安心・安全」を軸とした一般道の整備を目指す。これに伴い、同連合会は名称のほか、目的、活動方針、事業計画などでも決めた。

目的には、一般道「強靱(きょうじん)」で信号のない道路の建設促進を明記した上、早期実現を図る渥美半島道路

を「高規格道路」として明確に位置付けた。総会では、目的の実現に向け、県への要望活動を強化していくなど今年度の活動方針、事業計画なども決めた。

また、役員改選を行い、高崎雄三氏(田原市商工会長)が新会長に就任。会長を務めていた鈴木照彦氏(JA愛知みなみ組合長)は副会長に就いた。高崎会長は「会の活動を方針を踏まえて尽力する」、鈴木副会長は「能登半島地震をきっかけに渥美半島の道路の在り方も大きく変わった。新しい考え方に基つき、実現させたい」と、ともに意欲を示した。

同連合会は田原市内の経済団体、企業でつくり、2020年6月に設立された。他の副会長は次の皆さん。
森下直樹(渥美商工会長)、八木祥綱(田原臨海企業懇話会)、石黒功(渥美半島観光ビューロー)



渥美半島道路期成経済連合会の総会